

SR-1 ユーティリティ マニュアル

バージョン 1.00-1.01

2004年4月13日

目次

目次.....	2
1. はじめに	3
1.1. SR-1 ユーティリティの目的.....	3
1.2. 配布ファイル.....	3
1.3. 使用する前に準備すること.....	3
1.4. 実行中の注意.....	4
2. SR-1 ユーティリティの操作手順.....	6
2.1. 開始.....	6
2.2. 電源オン.....	7
2.3. リモートデバイス検索.....	8
2.4. SR-1 の選択.....	10
2.5. SR-1 への接続.....	11
2.6. SR-1 の確認.....	12
2.7. 充電電源の接続.....	13
2.8. メンテナンスモードのセットアップ.....	14
2.9. SR-1 の状態の読み出し.....	16
2.10. 音声認識言語の選択.....	17
2.11. 処理の確認.....	18
2.12. 新しい情報の書き込み.....	19
2.13. 現在の SR-1 の状態.....	20
2.14. 電源オフおよび充電電源の取り外し.....	21
2.15. 終了.....	22
2.16. キャンセル確認ダイアログ.....	23
2.17. バージョンアップ後 SR-1 をご使用になる際の注意.....	24
3. 困ったときは.....	25
3.1.1. SR-1 ユーティリティが起動できない.....	25
3.1.2. SR-1 の電源がオンにならない.....	26
3.1.3. 「SR-1 の選択」のページ(2.4 章)で目的の SR-1 が一覧に表示されない.....	26
3.1.4. 「デバイス検出無し」が現れる(下図).....	27
3.1.5. 「接続エラー」が現れる.....	28
3.1.6. 通信中に誤って SR-1 の電源をオフにしてしまった.....	28
4. 英語の音声認識キーワード.....	29

1. はじめに

スピーチレコグナイザーSR-1をご使用いただき、まことにありがとうございます。このマニュアルでは、SR-1ユーティリティの使用方法について説明しています。

1.1. SR-1 ユーティリティの目的

SR-1 ユーティリティはスピーチレコグナイザーSR-1 に関して以下のことを行う Windows アプリケーションソフトウェアです。

■ ファームウェアのバージョンアップ

ファームウェア(SR-1 内部に組み込まれているソフトウェア)のバージョンを 1.01 にバージョンアップします。バージョン 1.01 では新たに Bluetooth ハンズフリープロファイルのハンズフリーユニット機能を実現しました。ハンズフリープロファイルのオーディオゲートウェイ機能を持つ機器(ハンズフリープロファイル対応の携帯電話機など)と Bluetooth により接続し、音声通話を行うことが可能となります。

■ 音声認識の言語の変更

音声認識の言葉を英語または日本語のいずれかに変更します。

1.2. 配布ファイル

SR-1 ユーティリティに関しては以下の 3 つのファイルが配布されています。

- **SR1Utility.exe**: SR-1 ユーティリティの本体である実行ファイルです。
- **TosBtECCAPI.dll**: SR-1 ユーティリティを実行する際に必要なファイルです。このファイルが SR1Utility.exe と同じフォルダにある状態で SR1Utility.exe を実行してください。
- **sr1util.pdf**: SR1Utility.exe の使用方法を説明したファイル(このドキュメント)です。

1.3. 使用する前に準備すること

■ Microsoft Windows オペレーティングシステム

SR-1 ユーティリティは、Windows XP 上で動作します。

Windows XP: Microsoft® Windows® XP Operating System

■ Bluetooth 設定への登録




SR-1 ユーティリティは Bluetooth 東芝ユーティリティの Bluetooth 設定に設定された SR-1 に対してのみ行うことができます。まだ Bluetooth 設定に設定されていない場合は、まず Bluetooth 設定を実行してから SR-1 ユーティリティを実行してください。Bluetooth 設定の操作方法については SR-1 の取り扱い説明書をご覧ください。

■ Bluetooth が通信中でないことの確認

SR-1 ユーティリティを実行する前に、お使いのパソコンが他の Bluetooth 機器と接続されている場合は、接続を切断してから SR-1 ユーティリティを実行してください。また処理対象の SR-1 についても、他の Bluetooth 機器と接続されている場合は、接続を切断してから SR-1 ユーティリティを実行してください。SR-1 ユーティリティ実行中に他の通信が行われると、SR-1 ユーティリティの動作が遅くなったり、エラーが発生して中断してしまうことがあります。

■ Bluetooth 東芝ユーティリティの稼働状態の確認

Bluetooth 東芝ユーティリティが稼働している場合、パソコン画面上のタスクバーの通知領域(通常画面右下にある時計などが表示される場所)に、下記のようなアイコンが表示されています。

	このアイコンが表示されている場合は Bluetooth 東芝ユーティリティが稼働しています。SR-1 ユーティリティを実行することができます。
	このアイコンが表示されている場合は Bluetooth 東芝ユーティリティが休止中です。この状態では SR-1 ユーティリティを実行することができません。この場合は以下の点をチェックし、稼働状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none">• Bluetooth 内蔵パソコンの場合、本体側面にあるワイヤレスコミュニケーションスイッチを On にしてください。• Bluetooth SD カードをお使いの場合、SD カードが正しく差し込まれているかどうか確認してください。• このアイコンを右クリックすると表示されるメニューに[パワーON]の項目がある場合は、それを選択して、パワーON にしてください([パワーOFF]の項目がある場合はすでにパワーON になっています)。
	アイコンが赤くなっている場合は他の Bluetooth 機器と通信中です。他の機器とは通信を切断してから SR-1 ユーティリティを実行してください。

なお、上記アイコンが表示されていない場合、前述の Bluetooth 設定を起動することにより、Bluetooth 東芝ユーティリティが稼働状態となり、アイコンが表示されます。また逆にこのアイコンをダブルクリックすることにより Bluetooth 設定を起動することができます。

■ AC アダプタまたは充電用 USB ケーブルの用意

SR-1 ユーティリティの後半は SR-1 を充電電源に接続した状態で行う必要があります。AC アダプタまたは充電用 USB ケーブルをご用意ください。(前半部分は充電電源を接続しない状態で行う必要がありますので、まだ接続しないでください)

1.4. 実行中の注意

■ 他の Bluetooth 通信は行わないこと

SR-1 ユーティリティを実行中は、お使いのパソコン、および SR-1 は、他の Bluetooth 機器と接続しないでください。また、Bluetooth 設定での新しい接続の作成や、サービスセンターを使ってのデバイス検出も行わないでください。パソコンと SR-1 との間でも、SR-1 ユーティリティ以外の機能(AUDIO 接続・COM 接続)は使わないでください。

SR-1 ユーティリティ実行中に他の通信が行われると、SR-1 ユーティリティの動作が遅くなったり、エラーが発生して中断してしまうことがあります

■ パソコンをスタンバイ・休止状態にしないこと

SR-1 ユーティリティ実行しているパソコンを、SR-1 ユーティリティ実行途中にスタンバイ状態または休止状態にすると、SR-1 ユーティリティがエラーメッセージを出して終了してしまう場合があります。SR-1 ユーティ

リティ実行中はパソコンをスタンバイ状態や休止状態にしないでください。

2. SR-1 ユーティリティの操作手順

この章では SR-1 ユーティリティの操作手順を順を追って説明します。

2.1. 開始

SR-1 ユーティリティのプログラムアイコンをダブルクリックして、SR-1 ユーティリティを起動してください。起動すると開始ページ(下図)が表示されます。



< 次へ > ボタンをクリックしてください。次の「電源オン」のページ(2.2 章)へと進みます。

- | | |
|-----------|---------------------------|
| < 次へ > | 「電源オン」のページ(2.2 章)に進みます。 |
| < 戻る > | 無効となっており、押すことはできません。 |
| < キャンセル > | 何もせずに SR-1 ユーティリティを終了します。 |

2.2. 電源オン



このページでは SR-1 の電源をオンにします。

[POWER/STOP] ボタン (右耳側シャトルプッシュスイッチ) を 1 秒以上押してください。ピーブ音が 1 回して、ステータス LED (左耳側 LED) が点灯状態となります。それで電源オン状態です。

電源オン状態になったら < 次へ > ボタンを押してください。次の「リモートデバイス検索」のページ (2.3 章) に進みます。

なお SR-1 には自動電源オフ機能があり、電源オン状態のまま何もボタン操作や接続をせずにいると、3 分後に自動的に電源がオフになります。電源をオンにしたら、3 分以内に次のページに進んでください。

< 次へ >	「リモートデバイス検索」のページ (2.3 章) に進みます。
< 戻る >	開始ページ (2.1 章) に戻ります。
< キャンセル >	SR-1 ユーティリティを終了します (キャンセル確認ダイアログ (2.16 章) が表示されます)。

2.3. リモートデバイス検索



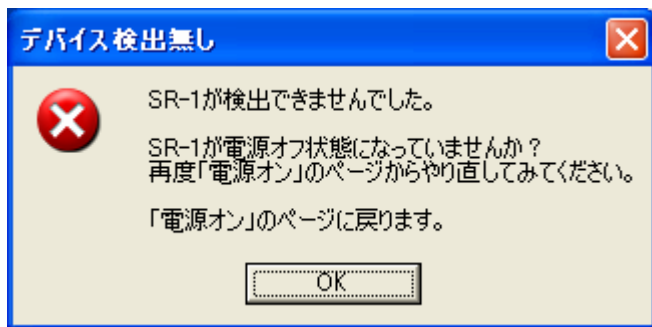
このページではリモートデバイス検索(周囲に存在する Bluetooth 機器を見出す)を実行し、その中から SR-1 を検出します。

ページが表示されると同時にリモートデバイス検索が開始されます。リモートデバイス検索が終了すると自動的に次のページに進みます。このページではユーザーが操作することはありません。自動的に次のページに進むのを待ってください。<次へ> ボタン、<前へ> ボタンは無効になっています。また、<キャンセル> ボタンを押しても SR-1 ユーティリティを終了することはできません。

リモートデバイス検索処理が終了した後、次に進むページは、Bluetooth 設定に設定されている SR-1 の数によって違います。複数台の SR-1 が設定されている場合は「SR-1 の選択」のページ(2.4 章)へと進みます。1 台だけ設定されている場合は「SR-1 の選択」のページは飛ばして、その次の「SR-1 への接続」のページ(2.5 章)へと進みます。

<次へ>	無効となっており、押すことはできません。
<戻る>	無効となっており、押すことはできません。
<キャンセル>	押すとエラーメッセージが表示されます。処理は続行します。

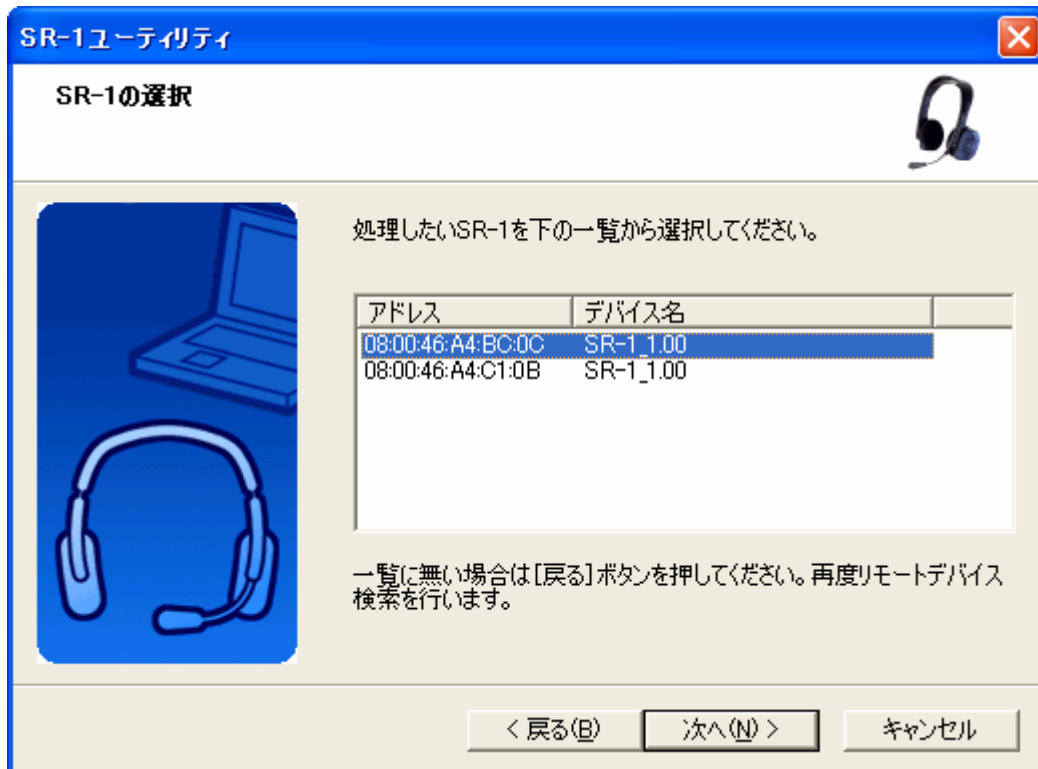
SR-1 が 1 台も検出できない場合、以下のようなダイアログが表示されます。



<OK> ボタンを押すとSR-1 ユーティリティは「電源オン」のページ(2.2章)に戻りますので、そこからやり直してください。

また、周囲に多数の Bluetooth 機器が存在する場合、正しく電源が入っていても検出できない場合があります。そのような場合は何度かリモートデバイス検索を行ってみてください。

2.4. SR-1 の選択



(注: アドレス、デバイス名は機器によって異なります)

このページは Bluetooth 設定に複数の SR-1 が登録されている場合に表示されます(登録されているのが 1 台のみの場合はこのページは表示されず、次の「SR-1 への接続」のページ(2.5 章)へ進みます)。このページでバージョンアップ対象の SR-1 を選択します。

一覧には検出された SR-1 が表示されます。その中からバージョンアップしたい SR-1 を選択してください。なお、ここでは 1 つしか選択することができません(複数台バージョンアップしたい場合は SR-1 ユーティリティを複数回実行してください)。

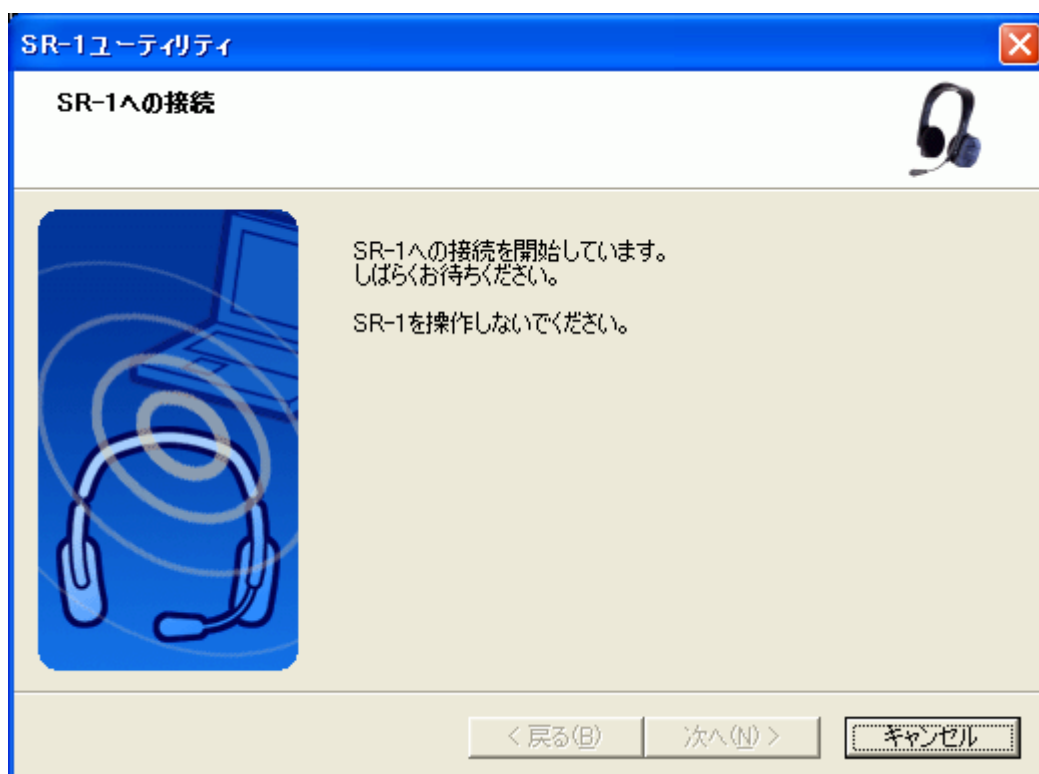
選択したら <次へ> ボタンを押してください(<次へ> ボタンは、ページの表示直後は押せない状態になっていますが、一覧の中でいずれかの項目を選択すると押せるようになります)。

一覧の中に目的の SR-1 がない場合は、SR-1 が電源オン状態になっていることを確認した後、<戻る> ボタンをクリックしてください。「リモートデバイス検索」のページ(2.3 章)に戻り、再度リモートデバイス検索からやり直します。

周囲に多数の Bluetooth 機器が存在する場合、SR-1 が電源オン状態になっていても検出できない場合があります。このような場合は何度かリモートデバイス検索を行ってみてください。

<次へ>	「SR-1 への接続」のページ(2.5 章)へ進みます。
<戻る>	「リモートデバイス検索」のページ(2.3 章)に戻り、再度リモートデバイス検索からやり直します。
<キャンセル>	SR-1 ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16 章)が表示されま

2.5. SR-1 への接続

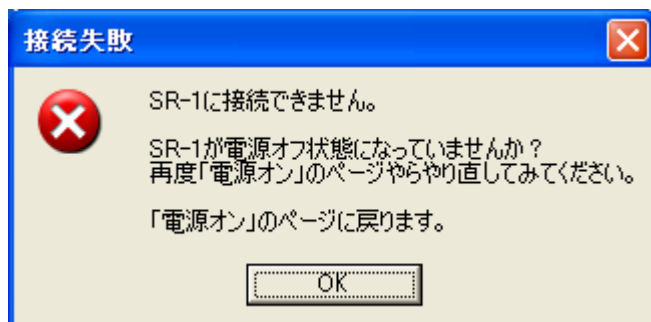


このページでは SR-1 に対して Bluetooth の通信を接続します。

通常はこのページは数秒程度しか表示されません。接続処理が終わると自動的に次の「SR-1 の確認」のページ(2.6 章)に進みます。このページではユーザーが操作することはありません。自動的に次のページに進むのを待ってください。< 次へ > ボタン、< 前へ > ボタンは無効になっています。また、< キャンセル > ボタンを押しても SR-1 ユーティリティを終了することはできません(キャンセルボタンを押すと、エラーメッセージが出て、処理は続行されます)。

< 次へ >	無効となっており、押すことはできません。
< 戻る >	無効となっており、押すことはできません。
< キャンセル >	押すとエラーメッセージが表示されます。起動設定の変更は続行します。

SR-1 に接続できない場合、以下のようなダイアログが表示されます。



< OK > ボタンを押すと「電源オン」のページ(2.2 章)に戻りますので、そこからやり直してください。

2.6. SR-1 の確認



このページでは SR-1 の確認を行います。

このページが表示されると SR-1 のステータス LED(左耳側 LED) がゆっくりと点滅(点灯・消灯をゆっくり繰り返し)を開始しますので、そのことを確認してください。

もし LED が点滅していない場合、SR-1 ユーティリティは別の SR-1 に接続してしまっている可能性があります(「SR-1 の選択」で違う SR-1 を選択してしまった可能性があります)。その場合には < 戻る > ボタンを押して下さい。SR-1 との接続を切断し、「SR-1 の選択」のページ(2.4 章)に戻ります。SR-1 を確認し、再度やり直してください。

点滅を確認したら < 次へ > ボタンを押してください。次の「充電電源の接続」のページ(2.7 章)へと進みます。

< 次へ >	「充電電源の接続」のページ(2.7 章)に進みます。
< 戻る >	「SR-1 の選択」のページ(2.4 章)に戻ります。
< キャンセル >	SR-1 ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16 章)が表示されません)。

2.7. 充電電源の接続



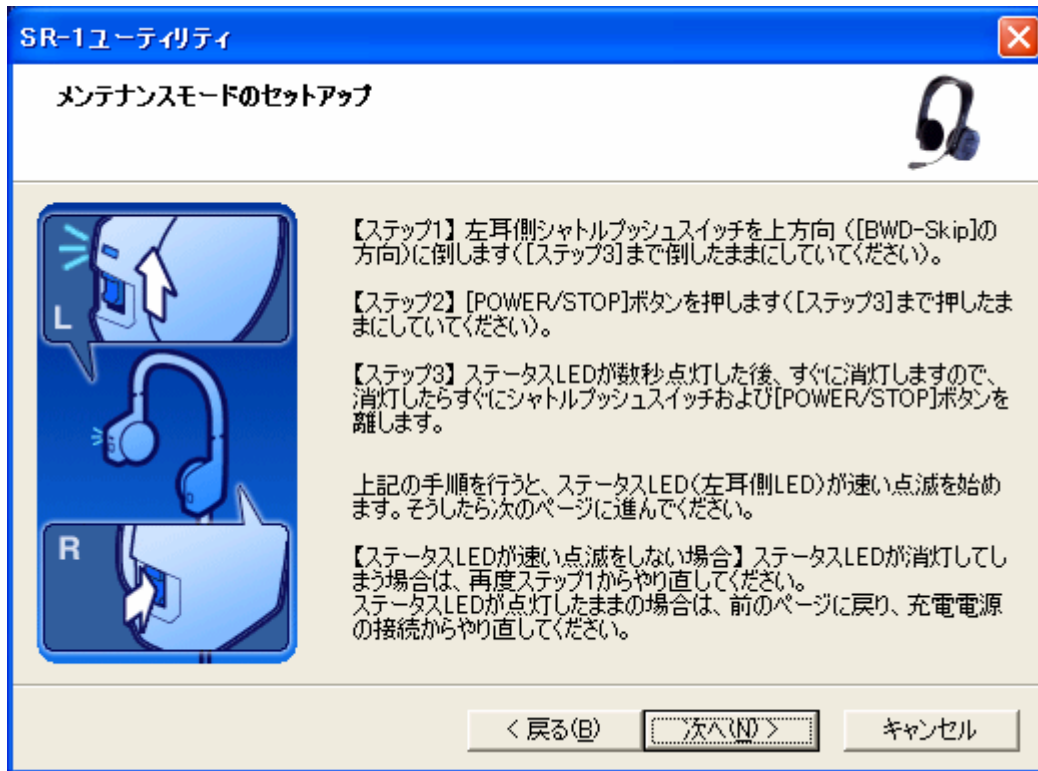
このページでは SR-1 を充電電源に接続します。

SR-1 取り扱い説明書の 3 章に記載されている「バッテリーの充電方法」に従って、AC アダプタまたは充電用 USB ケーブルを用いて SR-1 を充電電源に (AC アダプタの場合は電源コンセントに、充電用 USB ケーブルの場合は電源オン状態のパソコンに) 接続してください。充電電源に接続されると、充電 LED (右耳側 LED) がアンバーまたはブルーに点灯しますので、確認してください。このとき SR-1 からピープ音がして電源オフ状態 (ステータス LED が消灯) となりますが、異常ではありません。

SR-1 を充電電源に接続したら < 次へ > ボタンをクリックして下さい。次の「メンテナンスモードのセットアップ」のページ (2.8 章) へと進みます。

< 次へ >	「メンテナンスモードのセットアップ」のページ (2.8 章) に進みます。
< 戻る >	無効となっており、押すことはできません。
< キャンセル >	SR-1 ユーティリティの実行を終了します (キャンセル確認ダイアログ (2.16 章) が表示されま す)。

2.8. メンテナンスモードのセットアップ



ファームウェアのバージョンアップを行うためには、SR-1を**メンテナンスモード**という特別なモードで起動する必要があります。このページでは画面の指示に従ってSR-1をメンテナンスモードで起動します。

[STEP1] SR-1の左シャトルプッシュスイッチを上方向（[BWD-Skip]の方向）に倒します（[ステップ3]まで倒したままにしてください）。

[STEP2] [POWER/STOP]ボタンを押します（[ステップ3]まで押したままにしてください）。

[STEP3] ステータスLED（左耳側LED）が2秒ほど点灯した後、消灯しますので、消灯した直後にボタンを離します。（消灯したらすぐにボタンを離してください。消灯後もずっと押したままだと成功しません。）

上記手順を行うと、ステータスLEDが速い点滅を開始します。5～6秒程度以上見て、点滅を続けていることを確認してください。そうしたらメンテナンスモードのセットアップが完了です。

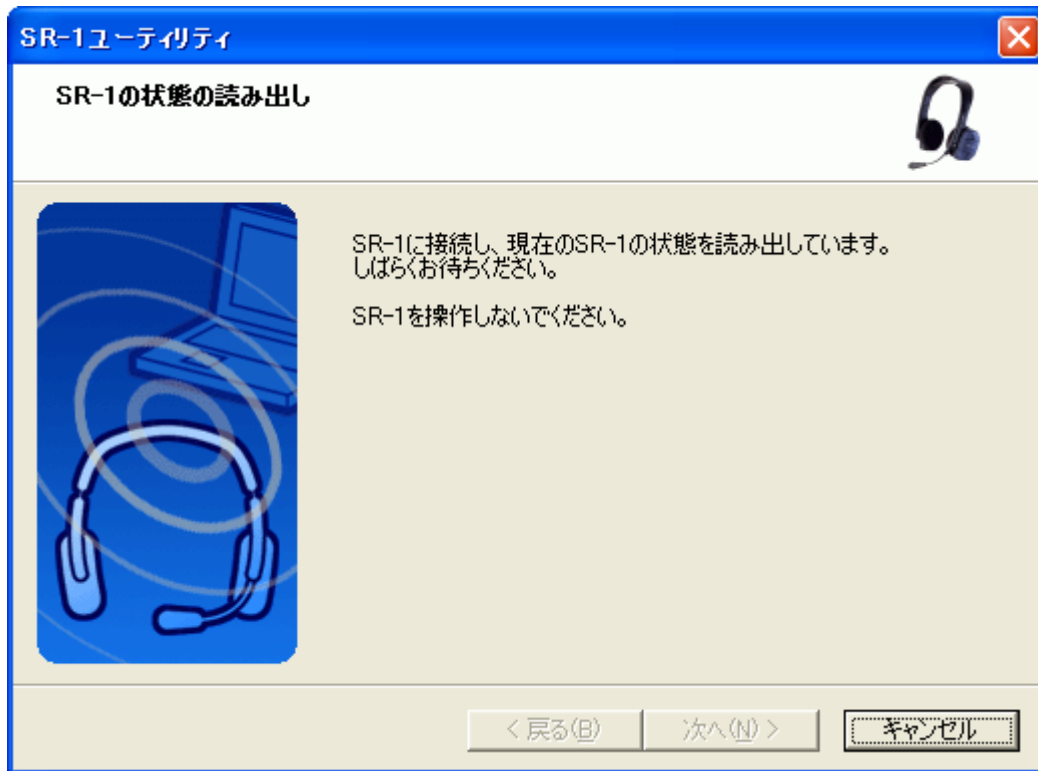
ステータスLEDが消灯してしまう場合にはメンテナンスモードでの起動に失敗しています。LEDが消灯したのち、再度[STEP1]からやり直してください。

またステータスLEDが点滅をせず、点灯したままの場合も、メンテナンスモードでの起動に失敗しています。この場合充電電源に接続されていない可能性が高いので、再度「充電電源の接続」のページ（2.7章）に書かれていることを確認し、再度[STEP1]からやり直してください。

メンテナンスモードのセットアップができたなら「次へ」ボタンをクリックしてください。次の「SR-1の状態の読み出し」のページ（2.9章）へと進みます。

<次へ>	「SR-1 の状態の読み出し」のページ(2.9 章)に進みます。
<戻る>	「充電電源の接続」のページ(2.7 章)に戻ります。
<キャンセル>	SR-1 ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16 章)が表示されま す)。

2.9. SR-1 の状態の読み出し



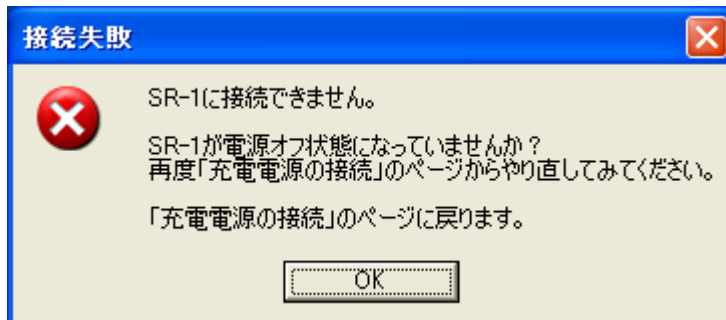
このページでは SR-1 に対して Bluetooth の通信を接続します。

通常はこのページは数秒程度しか表示されません。接続処理が完了すると自動的に次の「音声認識言語の選択」のページ(2.10 章)に進みます。

このページではユーザーが操作することはありません。自動的に次のページに進むのを待ってください。<次へ> ボタン、<前へ> ボタンは無効になっています。また、<キャンセル> ボタンを押しても SR-1 ユーティリティを終了することはできません(キャンセルボタンを押すと、エラーメッセージが出て、処理は続行されます)。

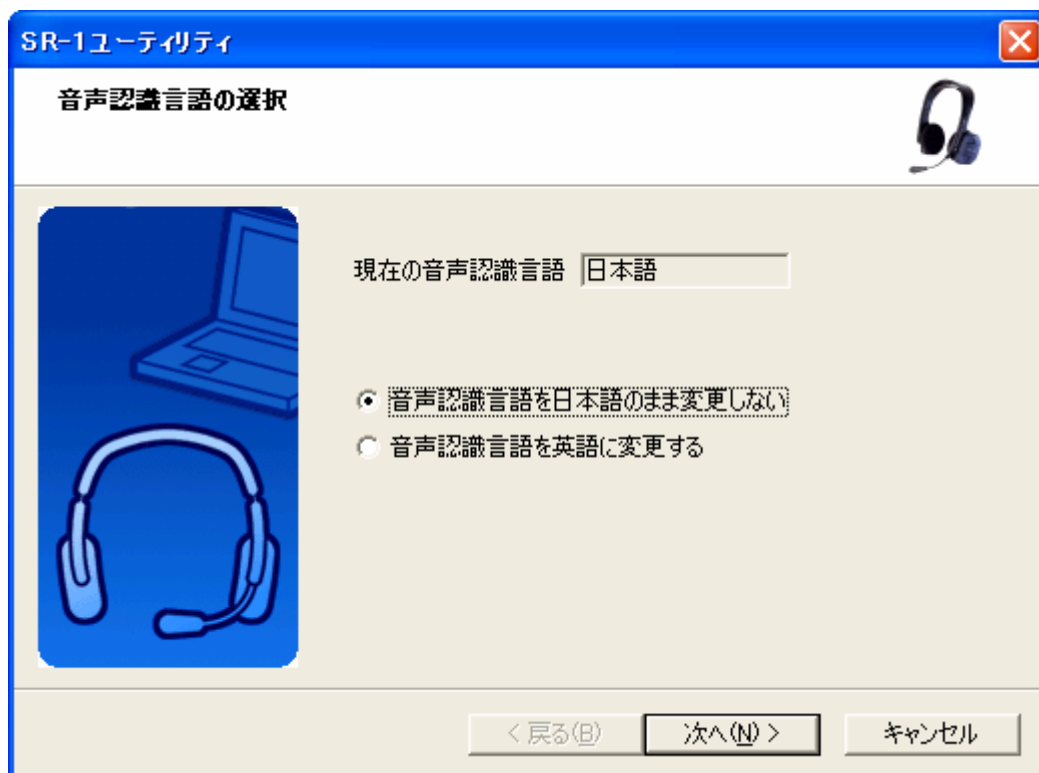
<次へ>	無効となっており、押すことはできません。
<戻る>	無効となっており、押すことはできません。
<キャンセル>	押すとエラーメッセージが表示されます。処理は続行します。

SR-1 に接続できない場合、以下のようなダイアログが表示されます。



<OK> ボタンを押すと「充電電源の接続」のページ(2.7 章)に戻りますので、そこからやり直してください。

2.10. 音声認識言語の選択



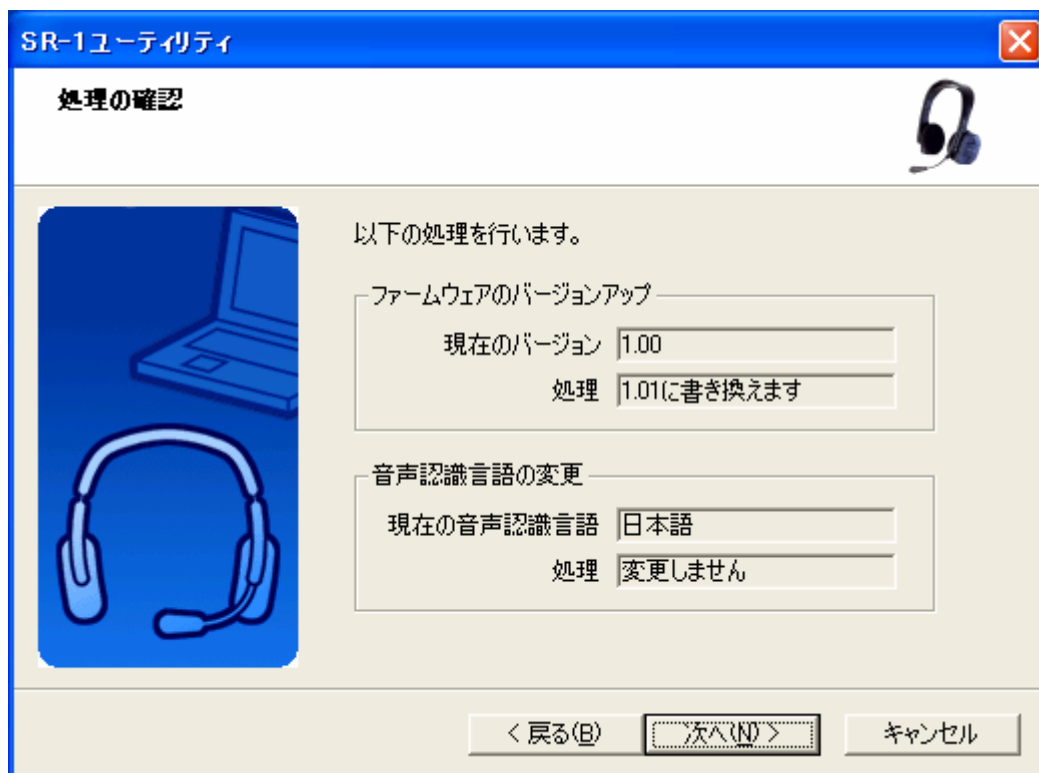
このページでは音声認識言語を日本語にするか英語にするか選択します。

音声認識言語を日本語にする場合には「音声認識を日本語に変更する」(すでに音声認識言語が日本語である場合には「音声認識言語を日本語のまま変更しない」と表示されます)を選択してください。音声認識言語を英語にする場合には「音声認識を英語(アメリカ)に変更する」(すでに音声認識言語が英語である場合には「音声認識言語を英語(アメリカ)のまま変更しない」と表示されます)を選択してください。

音声認識言語を選択したら<次へ>ボタンを押してください。次の「処理の確認」のページへと進みます。

<次へ>	「処理の確認」のページ(2.11章)へと進みます。
<戻る>	無効となっており、押すことはできません。
<キャンセル>	SR-1ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16章)が表示されま す)。

2.11. 処理の確認



このページでは、これから行う処理の内容が確認のために表示されます。

内容を確認した後、< 次へ > ボタンを押してください。次の「新しい情報の書き込み」のページ(2.12章)へと進みます。

音声認識言語の選択を変更したい場合には< 戻る > ボタンを押してください。前の「音声認識言語の選択」のページへと戻り、再度音声認識言語を選択しなおすことができます。

< 次へ >	「新しい情報の書き込み」のページ(2.12章)へと進みます。
< 戻る >	「音声認識言語の選択」のページ(2.10章)に戻ります。
< キャンセル >	SR-1 ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16章)が表示されま す)。

2.12. 新しい情報の書き込み



このページでは SR-1 に新しいバージョンのファームウェア、および音声認識のためのデータを書き込みます。

このページに入ると SR-1 に接続し、データの伝送が開始されます。その進行状況がプログレスバーで表示されます。完了すると自動的に次の「現在の SR-1 の状態」のページ(2.13 章)へと進みます。

このページではユーザーが操作することはありません。自動的に次のページに進むのを待ってください。< 次へ > ボタン、< 前へ > ボタンは無効になっています。また、< キャンセル > ボタンを押しても SR-1 ユーティリティを終了することはできません(キャンセルボタンを押すと、エラーメッセージが出て、ファームウェアの書き込みは続行されます)。

書き込みが完了するまでは SR-1 を操作しないでください。

< 次へ >	無効となっており、押すことはできません。
< 戻る >	無効となっており、押すことはできません。
< キャンセル >	押すとエラーメッセージが表示されます。ファームウェアの書き込みは続行します。

2.13. 現在の SR-1 の状態



このページでは処理後のSR-1のファームウェアのバージョンおよび音声認識の言語が確認のため表示されます。

これでよければ<次へ>ボタンを押してください。次の「電源オフおよび充電電源の取り外し」のページ(2.14章)へと進みます。

言語を再度変更したい場合は<戻る>ボタンを押してください。「音声認識言語の選択」のページ(2.10章)へと戻ります。なお、ファームウェアのバージョンアップは一度行くと、元に戻すことはできません。

<次へ>	「電源オフおよび充電電源の取り外し」のページ(2.14章)へと進みます。
<戻る>	「音声認識言語の選択」のページ(2.10章)へと戻ります。
<キャンセル>	SR-1ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16章)が表示されま す)。

2.14. 電源オフおよび充電電源の取り外し



このページでは SR-1 の電源をオフにし、充電電源を取り外します。

[POWER/STOP] ボタンを押してください。押した瞬間にステータス LED の点滅が止まり、離すと LED が消えます。LED が消えたら電源オフ状態です。

電源オフ状態になりましたら充電電源を取り外してください。

充電電源を取り外したら < 次へ > ボタンを押してください。次の終了ページ(2.15 章)へと進みます。

< 次へ >	終了ページ(2.15 章)へと進みます。
< 戻る >	無効となっており、押すことはできません。
< キャンセル >	SR-1 ユーティリティの実行を終了します(キャンセル確認ダイアログ(2.16 章)が表示されま す)。

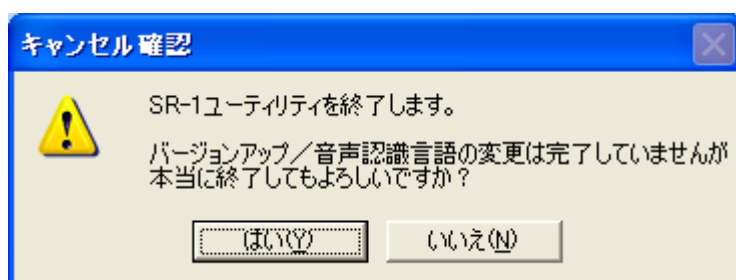
2.15. 終了



これでSR-1ユーティリティは完了です。<完了>ボタンを押してください。SR-1ユーティリティは終了となります。

<完了>	SR-1 ユーティリティの実行を終了します。
<戻る>	「電源オフおよび充電電源の取り外し」のページ(2.14章)に戻ります。
<キャンセル>	SR-1 ユーティリティの実行を終了します。

2.16. キャンセル確認ダイアログ



このダイアログは各ページにおいて <キャンセル> ボタンを押した場合に表示されます。
本当に終了する場合は <はい> ボタンを押してください。SR-1 ユーティリティの実行を終了します。
終了しない場合は <いいえ> ボタンを押してください。 <キャンセル> ボタンを押す前の状態に戻ります。

2.17. バージョンアップ後 SR-1 をご使用になる際の注意

ファームウェアのバージョンアップを行った後、SR-1 をご使用になる際には以下のことに注意してください。

■ バージョンアップ実行前に SR-1 に記録されていた接続先情報やボリューム設定は消去されています

バージョンアップを行うと SR-1 内部に記録されていた接続先情報やボリューム設定は消去されます。この状態では SR-1 の側からパソコンに向けて接続することはできません。

パソコンの Bluetooth 設定には接続情報が残っています。従いまして、バージョンアップを行った後、最初の接続はパソコンの Bluetooth 設定から行ってください。

一度接続すると、SR-1 はその接続情報を記憶します。2 度目以後は SR-1 の側からパソコンに向けて接続することが可能となります。

■ バージョンアップ後は Bluetooth デバイス名が SR-1_1.01 になっています

バージョンアップを行った後は Bluetooth デバイス名が SR-1_1.01 に変更されています(工場出荷時のデバイス名は SR-1_1.00 です)。

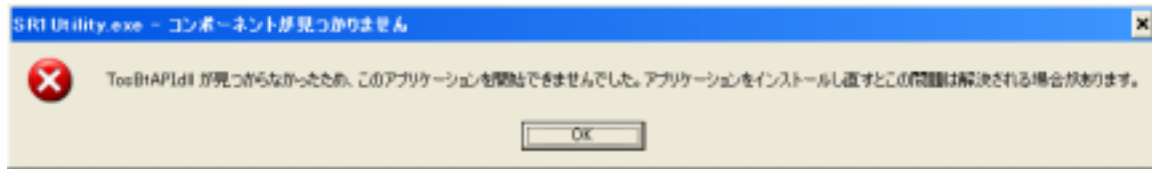
■ Bluetooth 設定に記録されているデバイス名が更新されない場合があります

Bluetooth 設定に記録されている SR-1 のデバイス名が、バージョンアップ後も古いまま記録されている場合があります。記録されているデバイス名が古いままであっても、SR-1 の機能に支障はありませんが、デバイス名を更新したい場合は、Bluetooth 設定に登録された SR-1 の設定を一旦削除し、「新しい接続」を再度実行して、設定をなおしてください。

3. 困ったときは

3.1.1. SR-1 ユーティリティが起動できない

■ 起動時に「コンポーネントが見つかりません」と表示される(下図)

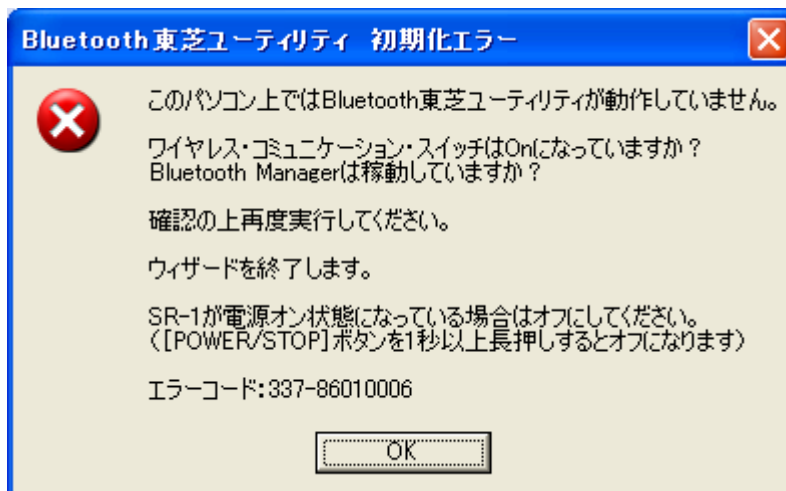


このエラーには「TosBtAPI.dllが見つからなかったため..」という内容ものと、「TosBtECCAPI.dllが見つからなかったため...」という内容のものがあります。

前者の場合は Bluetooth 東芝ユーティリティが正しくインストールされていない場合に発生します。SR-1 ユーティリティは Bluetooth 東芝ユーティリティ(バージョンが v2.03 以後のもの)を使用して動作します。お使いのパソコンに Bluetooth 東芝ユーティリティを正しくインストールしてください。

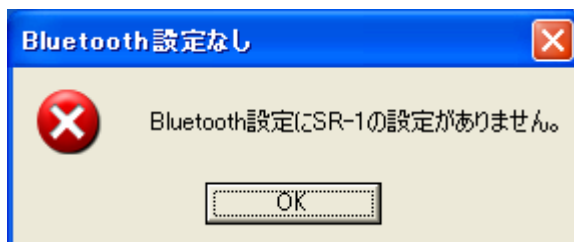
後者の場合は、SR-1 ユーティリティと一緒に配布されている TosBtECCAPI.dll というファイルが読み込めない場合に発生します。このファイルは SR1Utility.exe とともに配布されています。このファイルを SR1Utility.exe と同じフォルダに置いて SR1Utility.exe を実行してください。

■ 起動時に「Bluetooth 東芝ユーティリティ 初期化エラー」が表示される(下図)



このエラーは Bluetooth 東芝ユーティリティが稼動していない場合に発生します。Bluetooth 東芝ユーティリティが稼動している場合には 1.3 章で説明したようにアイコンがタスクバーに表示されています。1.3 章に書かれている内容をご確認ください。

■ 起動時に「Bluetooth 設定なし」が表示される(下図)



このエラーは Bluetooth 東芝ユーティリティの Bluetooth 設定に SR-1 の設定が 1 つも無い場合に発生します。SR-1 ユーティリティは Bluetooth 設定に登録された SR-1 に対してのみ実行することができます。ま

ず Bluetooth 設定で SR-1 の設定をしてから SR-1 ユーティリティを実行してください。

3.1.2. SR-1 の電源がオンにならない

■ SR-1 に充電電源が接続されていませんか？

2.2 章の電源オンに際しては、SR-1 に充電電源 (AC アダプタまたは USB 充電ケーブル) が接続された状態では起動しないようになっています。充電電源を外してください。

なお、2.8 章の「メンテナンスモードのセットアップ」に際しては、逆に充電電源が接続された状態でないと動作しませんのでご注意ください。2.2 章～2.6 章は充電電源を外した状態で行う必要があります。一方、2.8 章～2.13 章は充電電源を繋いだ状態で行う必要があります。

■ SR-1 のバッテリーが消耗していませんか？

SR-1 のバッテリーが全く残量が無い場合は、どの LED も点灯せずに起動しません。また SR-1 のバッテリー残量が残わずかの場合は、電源をオンにした直後にピープ音がしてすぐに電源 OFF 状態になります。

このような場合は SR-1 に充電電源を接続して、充電してから使用してください。

3.1.3. 「SR-1 の選択」のページ (2.4 章) で目的の SR-1 が一覧に表示されない

■ SR-1 の電源がオフ状態になっていませんか？

SR-1 には自動電源オフ機能があり、電源オン状態のまま何もせずに 3 分以上置いておくと自動的に電源がオフとなります (ボタン操作をしたり、通信をすると、最後に操作・通信を行った時点から 3 分後に電源オフとなります)。パソコンでリモートデバイス検索を開始する前に SR-1 の自動電源オフ機能が働いて、電源オフの状態になっていると、SR-1 を検出できません。SR-1 の電源をオン状態にした後は、なるべく早くパソコン側の操作でリモートデバイス検索を実行してください。

■ SR-1 が他の Bluetooth 機器と接続状態になっていませんか？

SR-1 が他の Bluetooth 機器と接続状態になっている場合、パソコン側から SR-1 を検出することができません。SR-1 のステータス LED がゆっくり点滅している場合は接続状態になっている可能性があります。一旦切断してから、SR-1 を再起動してください。

■ SR-1 が Bluetooth 設定に設定されていますか？

SR-1 ユーティリティは Bluetooth 東芝ユーティリティの Bluetooth 設定に設定された SR-1 に対してのみ実行することができます。目的の SR-1 が Bluetooth 設定に設定されていない場合は、Bluetooth 設定の「新しい接続」を実行して設定してください。

■ 周囲の電波状態が悪い可能性があります

周囲の電波状態や、パソコンと SR-1 との距離、遮蔽物の有無などによって、パソコンと SR-1 が接続しにくい状態になることがあります。

近くで無線使用の機器を使用している場合は、機器の電源をオフにしてみてください。

SR-1 の位置を移動してみてください。

■ 周囲に数多くの Bluetooth 機器が存在する場合検出できないことがあります

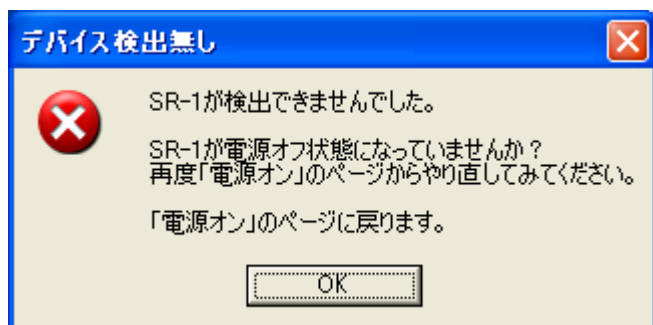
周囲に数多くの Bluetooth 機器が存在する場合、それらの機器からの信号が障害となり、目的の SR-1 を検出できない場合があります。このような場合、何度かリモートデバイス検索を行うか、または周囲に Bluetooth 機器が無い環境にてユーティリティを実行してください。

なお、この「SR-1 の選択」のページでは SR-1 以外の Bluetooth 機器は除外し、SR-1 のみを表示します。

■ SR-1 がすでにメンテナンスモードで動作していませんか？

リモートデバイス検索および SR-1 の選択の段階では「メンテナンスモードのセットアップ」のページ(2.8章)の方法でメンテナンスモードにセットアップされた SR-1 は検出されません。SR-1 がその状態である場合には、一旦電源オフ状態にし、充電電源を取り外し、通常の方法で電源オン状態にしてください。

3.1.4. 「デバイス検出無し」が現れる(下图)



■ SR-1 の電源がオフ状態になっていませんか？

SR-1 には自動電源オフ機能があり、電源オン状態のまま何もせずに 3 分以上置いておくと自動的に電源がオフとなります(ボタン操作をしたり、通信をすると、最後に操作・通信を行った時点から 3 分後に電源オフとなります)。パソコンでリモートデバイス検索を開始する前に SR-1 の自動電源オフ機能が働いて、電源オフの状態になっていると、SR-1 を検出できません。SR-1 の電源をオン状態にした後は、なるべく早くパソコン側の操作でリモートデバイス検索を実行してください。

■ SR-1 が他の Bluetooth 機器と接続状態になっていませんか？

SR-1 が他の Bluetooth 機器と接続状態になっている場合、パソコン側から SR-1 を検出することができません。SR-1 のステータス LED がゆっくり点滅している場合は接続状態になっている可能性があります。一旦切断してから、SR-1 を再起動してください。

■ SR-1 が Bluetooth 設定に設定されていますか？

SR-1 ユーティリティは Bluetooth 東芝ユーティリティの Bluetooth 設定に設定された SR-1 に対してのみ実行することができます。目的の SR-1 が Bluetooth 設定に設定されていない場合は、Bluetooth 設定の「新しい接続」を実行して設定してください。

■ 周囲の電波状態が悪い可能性があります

周囲の電波状態や、パソコンと SR-1 との距離、遮蔽物の有無などによって、パソコンと SR-1 が接続しにくい状態になることがあります。

近くで無線使用の機器を使用している場合は、機器の電源をオフにしてみてください。

SR-1 の位置を移動してみてください。

■ 周囲に数多くの Bluetooth 機器が存在する場合検出できないことがあります

周囲に数多くの Bluetooth 機器が存在する場合、それらの機器からの信号が障害となり、目的の SR-1 を検出できない場合があります。このような場合、何度かリモートデバイス検索を行うか、または周囲に Bluetooth 機器が無い環境にてユーティリティを実行してください。

なお、この「SR-1 の選択」のページでは SR-1 以外の Bluetooth 機器は除外し、SR-1 のみを表示します。

■ SR-1 がすでにメンテナンスモードで動作していませんか？

リモートデバイス検索および SR-1 の選択の段階では「メンテナンスモードのセットアップ」のページ(2.8章)の方法でメンテナンスモードにセットアップされた SR-1 は検出されません。SR-1 がその状態である場合には、一旦電源オフ状態にし、充電電源を取り外し、通常の方法で電源オン状態にしてください。

3.1.5. 「接続エラー」が現れる

■ SR-1 の電源がオフ状態になっていませんか？

SR-1 には自動電源オフ機能があり、電源オン状態のまま何もせずに 3 分以上置いておくと自動的に電源がオフとなります(ボタン操作をしたり、通信をすると、最後に操作・通信を行った時点から 3 分後に電源オフとなります)。SR-1 ユーティリティで作業中に何もしないまま 3 分以上放置すると、この機能がはたらいて電源オフの状態になってしまう場合があります。SR-1 の電源をオン状態にした後は、なるべく早く SR-1 ユーティリティを進めてください。

■ パソコンが他の Bluetooth 機器と接続状態になっていませんか？

SR-1 ユーティリティを実行しているパソコンが、他の Bluetooth 機器と接続している場合、SR-1 と接続できない場合があります。SR-1 ユーティリティ実行中は、パソコンは他の Bluetooth 機器とは接続しないでご利用ください。

■ 周囲の電波状態が悪い可能性があります

周囲に無線 LAN が存在する場合や、他の Bluetooth 機器が存在する場合、あるいは他の 2.4GHz 帯無線機器が存在する場合、それらとの電波が重なって、通信しにくくなる場合があります。なるべく周囲で無線の通信を行わない状況で SR-1 ユーティリティをご利用ください。

3.1.6. 通信中に誤って SR-1 の電源をオフにしまった

通信中に SR-1 の電源をオフにしまった場合、パソコンがそれを検出するのに約 20 秒ほどかかります。その後「SR-1 との通信が途中で切れました」というメッセージを表示し、SR-1 ユーティリティは終了します。この場合、SR-1 ユーティリティを最初からやり直してください。なお、充電電源が繋がっている場合には、まず外してから SR-1 ユーティリティをやり直してください。

4. 英語の音声認識キーワード

音声認識言語を英語に設定した場合のキーワードは以下の表のとおりです。なお、英語の音声認識は米国での発音をもとに作成されています。それと異なる発音では認識率が低下する可能性があります。

音声コマンド	キーワード
再生 *1	play
停止	stop
一時停止 *1	pause
次の曲 / チャプターへ進む	forward
前の曲 / チャプターへ戻る	backward
早送り *2	fast forward
巻き戻し *3	rewind
ボリュームを上げる *4	volume up
ボリュームを下げ *4	volume down
消音 *4	sound off, mute
消音解除 *4	sound on, mute reset
*5	cursor up
*5	cursor down
*5	cursor left
*5	cursor right
選択 *5	select
メニュー *5	menu
アングル切り替え *6	angle
パソコンに接続を試みる *7	connect

- *1 ... 音楽 / ビデオ再生用アプリケーションおよび再生状態によっては、「再生」と「一時停止」が逆の動作になることがあります。その際はもう一度同じコマンドを入力してください。
- *2 ... 「InterVideo WinDVD」および「Windows Media Player 9」では早送りを行います。「BeatJam」では再生している曲を 5 秒進ませます。
- *3 ... 「InterVideo WinDVD」および「Windows Media Player 9」では巻き戻しを行います。「BeatJam」では再生している曲を 5 秒戻します。
- *4 ... スピーチレコグナイザー SR-1 を制御するコマンドです。
- *5 ... 「InterVideo WinDVD」以外のアプリケーションでは使用できません。
- *6 ... マルチアングル対応の DVD ソフト専用のコマンドです。「InterVideo WinDVD4」以外のアプリケーションでは使用できません。
- *7 ... パソコンに接続している状態では使用できません。